

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 5 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の参加者について、現状は地域の連合会長や地域包括の職員、家族の参加になっているが、参加者の検討が必要。	民生委員や婦人会、他のグループホームの管理者の参加に努める。また開催事、随時参加ではなくとも、時期に合わせて、看護師や保健師の参加を依頼し、メンバーの充実を図る。そして多くの意見や要望をいただき、利用者の方々が住みよい施設作りをしていく。	2か月に1回のグループホーム連絡会で、他のグループホームの推進会議の運営状況の情報交換や意見交換を行う。(偶数月)	6ヶ月
2				次回7月開催の運営推進会議にて、外部評価結果の報告を行い、連合会長や地域包括の職員に相談。今後、他者との関係作り、参加について、検討していく。	6ヶ月
3				参加期日を具体的に決め、依頼を行う。また日程調整を行い、参加。単発ではなく定期的な参加へと繋げていく。(関係性作りが重要)	18ヶ月
4	35	年に2回の防火避難訓練と年に1回の地域避難訓練を実施のみ。地震・水害・台風対策のミニ訓練の実施が望ましい。避難訓練は何度行ってもよい。毎回外部評価の際、指摘事項になっているが、出来ていない。	地震・水害・台風対策の訓練の実施。(利用者への指示、対応、緊急連絡網の確認を行う)	6月・11月施設全体の防災訓練実施。 梅雨・台風の時期に合わせて、水害・台風対策の訓練を実施。(7月上旬と10月上旬) 12月に地震の避難訓練実施。(備蓄品を実際に食べる内容を組み込む) 2月に地域避難訓練実施。	24ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。